

単元名 星ざ

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 星のまとまりを星座ということを理解することができる。
 (3) 星座について、進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

04050101_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 星のまとまりを「星ざ」と呼ぶことを知る。</p> <p>★星について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○星を見た経験について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・町中ではあまり見ることができない。 ・町の明かりがあまりない、暗い場所では、星がたくさん見られる。 ○星座について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・星のまとまりを「星ざ」と呼ぶ。 ・星座は、星を線で結んだときにできる形を、動物や道具などに見立てて名前が付けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.76からの「夏の星」の単元で「星ざ」を既習として扱うため、4年生の最初の単元として、オリエンテーションを兼ねて行う ・星空の写真や映像を用意するとよい。 <p>【評】星座について知る活動を通して、「知識・技能」,「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】